

SOLID STATE REPRODUCING DEVICE

Patent Number: JP1093800
Publication date: 1989-04-12
Inventor(s): TAWARA IWAO
Applicant(s):: CASIO COMPUT CO LTD
Requested Patent: ☐ JP1093800
Application Number: JP19870251325 19871005
Priority Number(s):
IPC Classification: G10L9/18
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PURPOSE: To simplify the reading control of voice data and to attain sound reproducing for a long time by arranging various control data for driving the solid state reproducing device between voice data.
CONSTITUTION: Voice data and various control data are stored in a ROM 20 built in a language exercising device 1 and contents of which address is specified from a control part 21 are read out from the ROM 20 and sent to a voice synthesis circuit 22 and the control part 21. The circuit 22 synthesizes a voice based upon the voice data and sends the synthetic voice to an announcing part 23. The control part 21 executes the address specification operation of the ROM 20, the stop of reading operation and the change of addresses based upon various control data. In addition, the control part 21 controls various operation based upon a signal inputted from a switch input part 24.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 10-93800

(43) 公開日 平成 10 年 (1998) 4 月 10 日

(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H04N 1/32			H04N 1/32	Z E
H04L 29/08			H04M 11/00	302
H04M 11/00	302		H04L 13/00	307 Z

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平 8-242769
 (22) 出願日 平成 8 年 (1996) 9 月 13 日

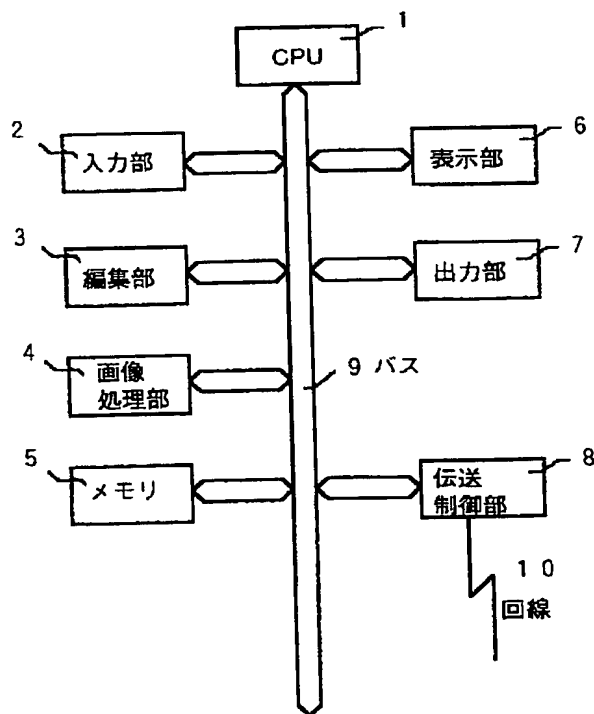
(71) 出願人 000005821
 松下電器産業株式会社
 大阪府門真市大字門真 1006 番地
 (72) 発明者 野間 睦明
 大阪府門真市大字門真 1006 番地 松下
 電器産業株式会社内
 (74) 代理人 弁理士 滝本 智之 (外 1 名)

(54) 【発明の名称】 通信装置

(57) 【要約】

【課題】 ファクシミリ装置や電子メール装置のような通信装置においては、送信相手からの返答が必要な場合は、その旨送信電文中に記載するが、受信側で返答を忘れたりすることが多く、また、一旦紙に出力してそれに回答を記入し、さらに、それを読み取り装置に取り取り寄せ送信することになり、非常に手間がかかっていた。

【解決手段】 全体制御する CPU 1 と、送信用の入力部 2 と、受信電文に対する返答を電文上に記入するための編集部 3 と、受信電文および返信電文の画像処理部 4 と、受信電文の表示部 6 および出力部 7 と、伝送制御部 8 と、返送に必要な情報を記憶したり未返送の電文を保存し管理するためのメモリ 5 を有し、伝送した文書に対する返信要求を受信側へ行うとともに、受信側で確実に返信するようにした通信装置の構成とする。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】通信電文を通信回線を通して送信する手段と、通信電文を通信回線を通して受信する手段と、通信電文を外部から読み込んだり内部で作成したりする電文入力手段と、受信した通信電文を印刷する出力手段と、受信した通信電文を表示する表示手段と、受信した通信電文に対して返答のための電文編集を行う編集手段と、送信相手に対して返答要求を示す要求信号を発生させる返答要求手段と、返答要求に対しその旨通知する通知手段と、返答のための手順をユーザに示しながら必ず返答させるための返答手段とを備えたことを特徴とする通信装置。

【請求項 2】返答手段は、返答を行うまでプリンタなどの出力装置に出力を抑制することを特徴とする請求項 1 記載の通信装置。

【請求項 3】返答要求に対し一定時間の返答がない場合、返答がなかったことを送信側に自動返答することを特徴とする請求項 1 記載の通信装置。

【請求項 4】返答電文として、電子メールを用いることを特徴とする請求項 1 記載の通信装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、受信側への返答要求を行うとともに、受信側で返答要求の通知を行い、必ず返答させるように構成したファクシミリ装置や電子メール装置等の通信装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、ファクシミリ装置や電子メール装置のような通信装置においては、送信側は送信電文を電話番号や電子メールアドレスを指定して送信する。送信相手からの返答が必要な場合は、その旨送信電文中に記載する。しかし、送信相手からの返答は相手側の都合により返って来たり、来なかったりする。返ってくる場合も、電話での返答であったり、ファクシミリや電子メールであったりする。特に、返答が必要な場合は、送信側から電話で催促するなど、何のためのファクシミリや電子メールか不明な場合もある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来の通信装置では、受信側も一旦受信してしまうとその返答を忘れてしまう場合もある。また、返答の場合は、受信文書のなかにその回答を行う場合が多く、ファクシミリのよう一旦紙に出力して、それに回答を記入し、さらに、それを読み取り装置に読みとらせ、送信することになり、非常に手間がかかる。

【0004】本発明は前記従来の問題に留意し、FAX等で伝送した文書に対する返信要求を受信側へ行くとともに、受信側で確実に返信するようにした通信装置を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は、上記目的を達成するために、通信電文を送信する手段と、通信電文を受信する手段と、通信電文を外部から読み込んだり内部で作成したりする電文入力手段と、受信した通信電文を印刷する出力手段と、受信した通信電文の表示手段と、受信した通信電文に対して返答のための電文編集手段と、送信相手への返答要求手段と、返答要求に対しその旨通知する通知手段を備え、返答要求のあった通信電文を受信した場合、その旨ユーザに知らせるとともに、返答のための手順をユーザに示し、返答を行うまで電文の受信状態を完了しないようにした通信装置の構成とする。

【0006】本発明によれば、FAX等で伝送した文書に対する返信要求を受信側へ行くとともに、受信側で確実に返信する通信装置とすることができる。

【0007】

【発明の実施の形態】本発明の請求項 1 に記載の発明は、通信電文を通信回線を通して送信する手段と、通信電文を通信回線を通して受信する手段と、通信電文を外部から読み込んだり内部で作成したりする電文入力手段と、受信した通信電文を印刷する出力手段と、受信した通信電文を表示する表示手段と、受信した通信電文に対して返答のための電文編集を行う編集手段と、送信相手に対して返答要求を示す要求信号を発生させる返答要求手段と、返答要求に対しその旨通知する通知手段と、返答のための手順をユーザに示しながら必ず返答させるための返答手段とを備えた通信装置であり、返答が必要な通信電文に対して確実に返答を行わせるという作用を有する。

【0008】本発明の請求項 2 に記載の発明は、請求項 1 記載の通信装置において、返答手段は、返答を行うまでプリンタなどの出力装置に出力を抑制するようにしたものであり、返答が行われるまで受信電文を印字できないように抑制し、返答の必要のあるものがあることを受信側が忘れないようにするという作用を有する。

【0009】本発明の請求項 3 に記載の発明は、請求項 1 に記載の通信装置において、返答要求に対し一定時間の返答がない場合、返答がなかったことを送信側に自動返答するようにしたものであり、返答のために一定時間を計測し、その間に返答が行われない場合、自動的に返答が得られないことを送信側に返答するという作用を有する。

【0010】本発明の請求項 4 に記載の発明は、請求項 1 に記載の通信装置において、返答電文として、電子メールを用いるようにしたものであり、返答が必要な通信電文に対して確実に電子メールによる返答を行わせるという作用を有する。

【0011】以下、本発明の通信装置の実施の形態を図面を参照して説明する。

（実施の形態 1）図 1 は、本発明の実施の形態 1 にお

る通信装置の構成を示すブロック図である。

【0012】図1に示すように、本通信装置は、全体の制御を行うCPU1と、送信電文を入力するキーボード、画像イメージを入力するスキャナ、送信開始キー、返答要求キー、返答送信キー等を備える入力部2と、受信電文に対する返答を当該電文上に記入するためのキーボード、マウス等のポインティング装置、タッチパネル等の編集部3と、受信電文および返信電文の画像信号を処理する画像処理部4と、受信電文を表示するディスプレイ等の表示部6、受信電文をプリントする出力部7と、回線10が接続され伝送制御する伝送制御部8とからなる。

【0013】さらに、本通信装置は、自分の電話番号や自己電子メールアドレス、および受信相手の電話番号や、相手電子メールアドレスなどの返送に必要な情報を記憶したり、未返送の電文を保存し管理するためのメモリ5を有する。図中の9はバスである。

【0014】次に、返答要求の電文送信に対する動作について説明する。なお、本実施例では、ファクシミリ通信を例に説明する。図2は、ファクシミリ電文の送信の処理手順を示すフローチャートである。

【0015】図2において、図1に示す通信装置を送信側として使用し、返答要求を行う場合、まず、入力部2として、スキャナを用いて送信電文を入力する（ステップ10）。

【0016】次に、この送信電文が返答が必要かどうかを判定する（ステップ11）。もし、返答が必要であれば入力部の返答要求キーを押下して、返答機能をONとする（ステップ12）。さらに入力部のキーボードを用いて、ファクシミリを送信する相手の電話番号を入力し（ステップ13）、メモリ5内の自分の電話番号を読み出し、送信開始キーを押下する（ステップ14）ことで、電文を送信する（ステップ15）。

【0017】なお、送信に当たってはファクシミリの場合、ITU-T勧告T. 30における伝送制御手順であるTSI信号により自己の電話番号を通知する。また、返答要求信号は、同様にNSS信号を用いて送信する。これらの操作および動作の制御はCPU1により行われる。電文送信に当たっては、画像処理部4において処理され、伝送制御部8を通じて送信する。

【0018】次に、返答要求の受信電文に対する動作について説明する。図3は、受信処理の処理手順を示すフローチャートである。

【0019】図1、図3において、回線10からのファクシミリ電文は、伝送制御部8により受信し、画像処理部4により処理された電文をメモリ5に一旦蓄積する。ファクシミリの場合、ITU-T勧告T. 30における伝送制御手順であるTSIにより通知された送信側の電話番号もまた、メモリ5に記憶する。また、NSS信号により返答要求があるかどうか管理情報法としてメモ

リ5に記憶してもよい。

【0020】さて、受信した電文に対し、まず、返答要求があるかどうかを判定する（ステップ21）。返答要求がなければ、通常のファクシミリ受信と同様の処理を行い、一般的には、出力部により印字する（ステップ27）。返答要求があれば、まずその通知をユーザに行う（ステップ22）。

【0021】通知方法は、通信装置に付属のブザーや音声合成装置による音／音声による通知でも、明滅するライトなどでも良い。これは、返答の重要度に応じて種類を変えたり、通知しないようにしたりすることもできる。電文は、ユーザの操作または自動的にディスプレイなどの表示装置に表示される（ステップ23）。

【0022】返答に当たっては、ある一定時間の監視を一定回数行い、通信装置のメモリが溢れたり、いつまでも永遠に返答を待つことがないようにする（ステップ24）。ユーザは、ディスプレイ上に表示された電文を見ながら、編集部3の編集手段を用いて、返答をキーボードで入力したり、タッチパネル上から○や×などを入力し、返答を受信電文上、または返答用文書上に作成する。入力部2の返答キーを押下することにより返答の入力終了を検知する（ステップ25）。以下、返答電文として、送信元に返答される（ステップ26）。この時、メモリ5に受信時に記憶した送信側の電話番号を参照し、自動的にダイヤルして、ファクシミリ送信する。以降は送信時と同様の動作であり、その説明を省略する。

【0023】なお、返送用文書として、キーボードから入力したテキストをそのまま電子メールとして送信してもよい。その場合、送信側からのTSIまたはNSS信号には、電子メールアドレスがセットされることにより実現できる。

【0024】

【発明の効果】以上の説明より明らかなように、本発明の通信装置によれば、返信に必要な電文に対し受信側が必ず返信を行うようにさせることができ、その操作が簡単で実用上、有用である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態1における通信装置の構成を示すブロック図

【図2】同通信装置における電文送信の処理手順を示すフローチャート図

【図3】同通信装置における電文受信の処理手順を示すフローチャート図

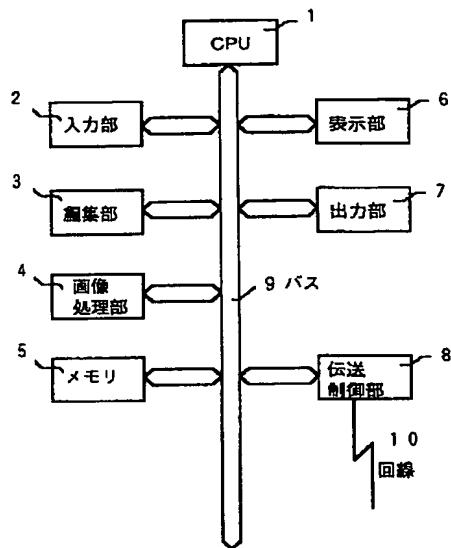
【符号の説明】

- 1 CPU
- 2 入力部
- 3 編集部
- 4 画像処理部
- 5 メモリ
- 6 表示部

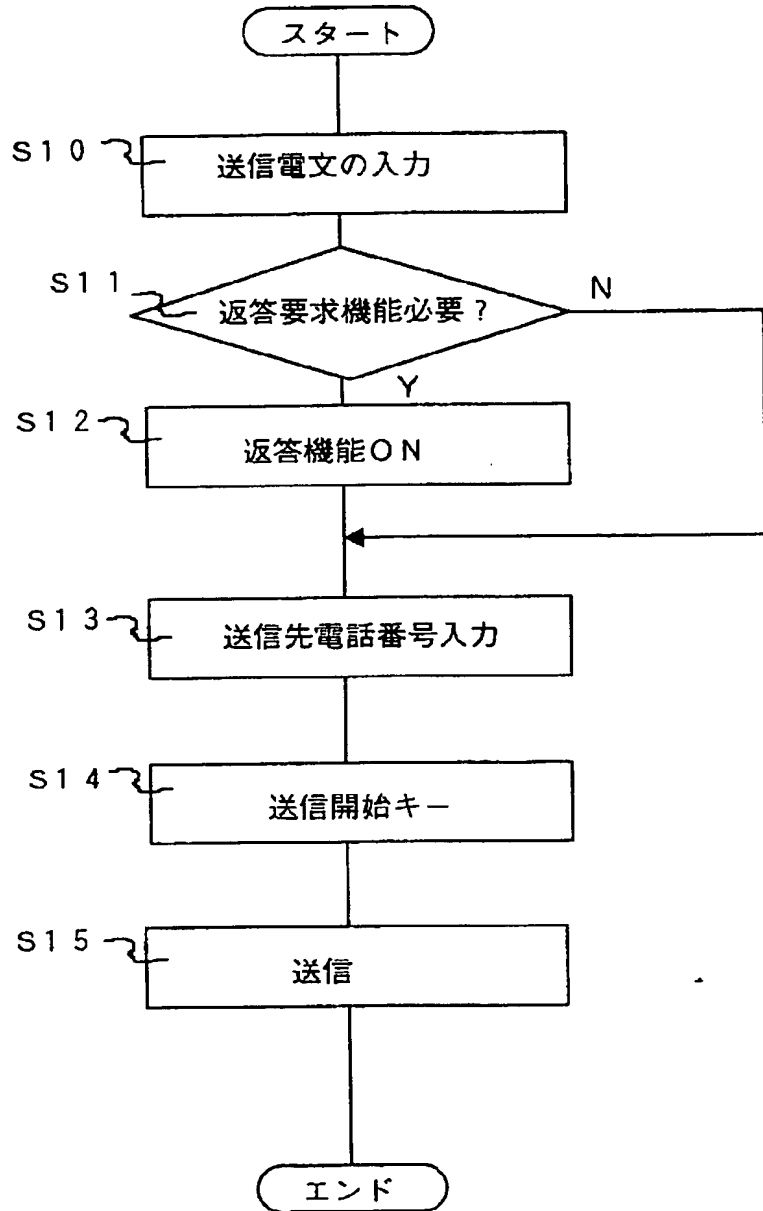
7 出力部
8 伝送制御部

9 バス
10 回線

【図 1】



【図 2】



【図 3】

